

## 1 領域〔書くこと〕で書く外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

自分のもっている知識・技能の中で、「目的・場面・状況」に合わせて、適切な内容、伝え方等を選び、自分の考えをまとまりのある文章で書き、それを他者との関わりを通して再構築する。

## 2 領域〔書くこと〕における資質・能力の系統

小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語	高等学校 外国語
	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

## 3 単元目標

## 4 生徒の実態と指導観

<p>南国市や高知、日本のおすすめの場所について、クラスの仲間がそこに行ってみたくなるように、自分の経験や感想を基に、まとまりのある文章で書く。</p>	<p>本学級の生徒は、全体的に、意欲的に学習に取り組むことができる。小学校での外国語・外国語活動によって、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が見られ、「聞くこと」及び「話すこと」の活動に慣れている生徒が多い。「書くこと」に関しては、まとまりのある文章を書けるようになってきたが、知識・理解に課題が見られる生徒が多く、それに伴い生徒の苦手意識も高い。12月に実施した高知県学力定着状況調査の大問10では、「自分の好きなものについてまとまりのある文章を書く」ことはできているが、文章に主語がないなど語順が定着していないことが1年生全体の課題であると分析した。しかし、自分の伝えたいことを英語で表現したいという気持ちを持っている生徒も多く、その意欲を継続していく中で、言い換え表現なども共有していき、まとまりのある文で、伝えたいことをたくさん書くことで自信をつけさせたい。そして、それについてフィードバックを繰り返す中で、正確に書く力もつけていきたい。</p> <p>本単元では、動詞の過去形を文法事項として扱い、これまで生徒たちが表現できなかった経験したことや過去の事実について表せるようになる。ただ羅列的に事実を述べるだけでなく、書き表したものをペアやグループになって、聞いてもらったり読んでもらったりしながら、伝えたい内容を深めていく。また、相手に配慮し、見方・考え方を働かせながら文章を構成するよう、声かけや展開などを工夫したい。英語で伝えたいことをどのように表現すればよいのか困っている生徒がいる場合には、既習表現の中からどのように表現することができるか、簡単な語句を用いたり1文を2文に分けて具体例を入れたりして、自分の言いたい表現に近づけていくことができることなど気づきを促す指導を行いたい。最後には、それぞれの書いたものを読み合い相互評価をするとともに、それを参考に自分の文章に加筆修正する活動を入れていく。</p>
--	---

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>&lt;知識&gt; 動詞の過去形の用法や文の構造を理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; おすすめの方法について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、動詞の過去形や理由を加える because 等を用いながら、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書く技能を身に付けている。</p>	<p>日本のおすすめの場所について、クラスの仲間がその場所に行ってみたくなるように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。</p>	<p>日本のおすすめの場所について、クラスの仲間がその場所に行ってみたくなるように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。</p>

## 6 領域〔書くこと〕における資質・能力の系統

**小学校**

自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

---

**【第1学年】**

**Program 3 「自己紹介」**  
文字や符号を識別し、語と語のつながりや区切りなどに注意して、正しい語順で興味や好き嫌いなど、自分に関する情報を25語程度で書くことができる。

**Program 6 「他己紹介」**  
相手意識をもって、情報を整理し、まとまりのある文章で身の周りの人やお気に入りの人、ものについて30語程度で書くことができる。

**Program 8 「おすすめの方法」**  
ALT や ALT の家族に、高知や日本の場所を知ってもらうために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文同士の適切なつながりに注意しながら35語程度のまとまりのある文章を書くことができる。

**Program 10 「おすすめの方法」 \*本単元**  
クラスの仲間がその場所に行ってみたくなるように、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、自分の経験を加えて40語程度のまとまりのある文章を書くことができる。

**「1年間ありがとう」**  
相手意識をもって、既習したことを基に、話題を広げながらまとまりのある文章で50語程度で書くことができる。

---

**中学校**

**【第1学年末ゴール】**  
身近な話題について、読み手意識をもって、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を、中心となる話題に関して、簡単な語句や文を用いて50語程度のまとまりのある文章を書くことができる。

**【第2学年末ゴール】**  
身近な話題や聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや気持ちとその理由、また詳しい様子や事実などを、感想、賛否、理由などを加えながら、中心となる話題に関して、簡単な語句や文を用いて70語程度のまとまりのある文章を書くことができる。

**【第3学年末ゴール】**  
社会的な話題や聞いたり読んだりしたことについて、客観的な事実や様々な考えなどに基づいた自分の意見やその根拠などを文と文のつながりや構成に留意し、具体例、根拠となるデータなどを挙げたり、対比させる英文を効果的に織り交ぜながら中心となる話題に関して、100語程度で読み手に伝わるよう書くことができる。

【単元を貫く問い】相手に配慮し、どのように情報を整理し、文章を構成すればより相手に分かりやすくなるのか。

	言語活動	学習内容 ◇単位時間内のめあて	評価規準	見方・考え方を働かせている生徒の姿
1	時系列に沿って、昨日したこと、しなかったことについて、ペアで、伝え合う活動。⇒書く活動へ	<p>◆本単元の見直しをもつ</p> <p>○教員のモデル文を見て、単元のゴールイメージをもつ。</p> <p>○動詞の過去形を学習する。</p> <p>①『We Can! 2 Unit7 My Best Memory』を見て小学校外国語を振り返る。</p> <p>②ピクチャーカードを使って過去を表す言い方を知る。</p> <p>③パターンプラクティスで定着を図る。</p> <p>◇ペアで、動詞の過去形を用いて、昨日したことやしなかったことを3文程度でやりとりを行うことができる。</p> <p>①Speaking (相手を変えて2回やりとりを行う)</p> <p>②Writing (伝えたいことを整理して、書く)</p> <p>③Sharing (書いたものを読んで、お互いに感想を述べたり質問したりする。)</p>	<p>動詞の過去形を用いて、昨日の出来事を書くことができる。【技】(ワークシート、形成的評価)</p> <p>【目指す子どもの姿】 I played soccer after school. I got home at seven. I ate nikujaga for dinner. It was good. (18 words)</p>	<p>・動詞の形を変えたら、昔のことも伝えられるようになって表現の幅が広がる。</p> <p>・時系列に沿って伝えたら相手が分かりやすくなるかな。</p>
2	昨日したことについて、ペアで、やり取りを通して伝え合う活動。⇒書く活動へ	<p>○前時の振り返り</p> <p>②前時書いた英文を読み合う。</p> <p>○教科書の内容理解を通して、過去の疑問文についての表し方を知る。</p> <p>◇過去形の疑問文を用いて、ペアでやり取りをしながら、「昨日したこと」について情報を整理し3文程度のまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>①Speaking (中間評価を入れながら、相手を変えて2回行う)</p> <p>②Writing (伝えたいことを整理して、書く)</p>	<p>過去の疑問文を使って友達とやり取りしたことを通して、昨日の出来事を書くことができる。【技】(ワークシート、形成的評価)</p> <p>【目指す子どもの姿】 I watched TV yesterday. I watched "Itte-Q". It was fun. I like Degawa-san. (14 words)</p>	<p>・疑問詞を使って、やり取りを行うことで、相手の情報を引き出したり、自分の考えや気持ちを広げることができるかな。</p>
3	冬休みの思い出について、友達に理解してもらえよう、簡単な語句や文を用いて、伝えたいことをまとめ、ペアで伝えたり問答し合ったりする活動。⇒書く活動へ	<p>○前時の振り返り</p> <p>①動詞の過去形の復習 ②前時でのインタビュー形式でトピックを変えて行う。</p> <p>◇「冬休みの思い出」について、友達に理解してもらえようやりとりを通してまとまりのある文章を書く。</p> <p>①教師のモデル文を示し、イメージをもつ。</p> <p>②情報シートを用いて、伝えたい内容を整理する。</p> <p>③Speaking (中間評価を入れながら、相手を変えて2回行う) ※詳しく知るために、必ず1つは質問をする。 ペアでやりとりした内容を含め、必ず1つ以上情報を書き加える。</p> <p>④Writing (伝えたいことを整理して、書く)</p> <p>⑤Sharing (書いたものを読み合い、いい表現や質問があれば加筆修正する)</p>	<p>冬休みの思い出について、伝えたい内容をまとめて、メモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて書いている。【思】(ワークシート)</p> <p>情報を整理して、まとまりのある文章を書こうとしている。【主】</p> <p>【目指す子どもの姿】 I went to my grandfather's house with my family on January 1. I saw my cousins there. We talked a lot. We got otoshidama from my grandfather and I bought a new video game. It is Pokemon. I had a good time. (42words)</p>	<p>・事実だけでなく、自分の気持ちも加えたら、聞いてくれる人はもっと理解してくれるかな。</p>
4	自分の大切なものについて、ペアで、Why~?やBecauseを用いて理由を加えながら伝え合う活動。⇒書く活動へ	<p>○前時の振り返り</p> <p>①動詞の過去形の復習</p> <p>②先週日曜日にしたことについてのインタビュー</p> <p>◇Why~?やBecauseを使って、自分の大切なものについて理由や情報を加えて伝え合うことができる。</p> <p>①教科書の音読を通して、理由をたずねたり答えたりする表現に気づき、紹介文の中で活用する。</p> <p>②Speaking (中間評価を入れながら、相手を変えて2回行う) ※詳しく知るために、必ず1つは質問をする。 ペアでやりとりした内容を含め、1つ以上情報を書き加える。</p> <p>③Writing (伝えたいことを整理して、書く)</p> <p>④Sharing (書いたものを読み合い、いい表現や質問があれば加筆修正する)</p>	<p>自分の好きなものについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書いている。【思】(ワークシート)</p> <p>情報を整理して、まとまりのある文章を書こうとしている。【主】</p> <p>【目指す子どもの姿】 This is my favorite pen. My friend gave it to me last year. It was my birthday present. I was very happy. It is cute. I use it every day. (29 words)</p>	<p>・理由を加えることで、もっと自分の気持ちが伝わるかな。色々理由を伝えたいな。</p>
5	友達に、南国市大使になりきって、南国市でぜひ行ってみたいところをまとめ、簡単な語句や文を用いて書き、それについて問答し合う活動。	<p>○前時の振り返り</p> <p>①前時の sharing</p> <p>◇「南国市でぜひ行ってみたいところ・教えたもの」について、友達に理解してもらえようやりとりを通してまとまりのある文章を書く。</p> <p>①教師のモデル文を示し、イメージをもつ。</p> <p>②メモやマッピングを用いて、情報を整理する。</p> <p>③Writing (伝えたいことを整理して、書く)</p> <p>④Sharing(書いたものをペアで読み合って質問をし、エディターシートを用いて、ペアチェックをする) ※詳しく知るために、必ず1つ質問をする。 ペアでやりとりした内容を含め、必ず1つ以上情報を書き加える。</p> <p>⑤Writing (sharing で得られた情報を使いながら、加筆修正する)</p> <p>⑥Sharing (書いたものを読み合い、いい表現や質問があれば加筆修正する)</p>	<p>南国市について、伝えたい内容をまとめて、メモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて書いている。【思】(ワークシート)</p> <p>情報を整理して、まとまりのある文章を書こうとしている。【主】</p> <p>【目指す子どもの姿】 This is Ishizuchi pond. You can see lotus flowers. They are beautiful. I saw them last summer. You can also enjoy fishing there. I caught a big fish. (28 words)</p>	<p>・Program8 でおすすめの場所について書いたけど、自分の経験を加えると話が広がって、相手ももっとそこに行ってみたくなると思ってくれるかな。</p>
6	友達に、修学旅行大使になりきって、修学旅行で実際に行って、ぜひ友達にも行ってみたいと感じたところについて、経験を加えながら、簡単な語句や文を用いて書き、それについて問答し合う活動。	<p>○前時の振り返り</p> <p>①動詞の過去形の復習</p> <p>②前時に書いたものを全体で sharing</p> <p>◇「修学旅行先でぜひ行ってみたいところ」について、友達に理解してもらえようやりとりを通してまとまりのある文章を書く。</p> <p>①教師のモデル文を示し、イメージをもつ。</p> <p>②メモやマッピングを用いて、情報を整理する。</p> <p>③Writing (伝えたいことを整理して、書く)</p> <p>④Sharing(書いたものをペアで読み合って質問をし、エディターシートを用いてペアチェックをする) ※詳しく知るために、必ず1つは質問をする。 ペアでやりとりした内容を含め、必ず1つ以上情報を書き加える。</p> <p>⑤Writing (sharing で得られた情報を使いながら、加筆修正する)</p> <p>⑥Sharing (書いたものを読み合い、いい表現や質問があれば加筆修正する)</p>	<p>修学旅行先について、伝えたい内容をまとめて、メモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いて書いている。【思】(ワークシート)</p> <p>情報を整理して、まとまりのある文章を書こうとしている。【主】</p> <p>【目指す子どもの姿】 This is USJ. We went there last May. You can enjoy many attractions. I like roller coasters very much. I rode Spider Man. It was exciting. Please go and enjoy it. (31 words)</p>	<p>・友達も同じ場所に行っているけど、そこでは違うかもしれないな。友達の紹介文を読んでみたい。</p>
7 (本時)	友達に「ぜひ行ってみたい場所」について、簡単な語句や文を用いて書き、それについて問答し合う活動。	<p>○前時の振り返り</p> <p>①前時の書いたものを全体で sharing</p> <p>◇Program 8 で作成した「おすすめの場所」の英文を活用して、伝えたいことを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、問答し合ったりすることができる。</p> <p>①メモやマッピングを用いて、情報を整理する。</p> <p>②Writing (伝えたいことを整理して、書く)</p> <p>③Sharing(書いたものをペアで読み合って質問をし、エディターシートを用いてペアチェックをする) ※詳しく知るために、必ず1つは質問をする。 ペアでやりとりした内容を含め、必ず1つ以上情報を書き加える。</p> <p>④Writing (sharing で得られた情報を使いながら、加筆修正する)</p> <p>⑤Sharing (書いたものを読み合い、いい表現や質問があれば加筆修正する)</p>	<p>7 友達が行ってみたいように、日本のおすすめの場所について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書いている。【思】(ワークシート)</p> <p>相手からの質問をもとに加筆・修正して、再構築しながら書こうとしている。【主】</p> <p>8 友達の文章を読み合うことで、参考にしたい文章を自分の文章に取り入れて書いている。【思】</p> <p>【目指す子どもの姿】 This is Kashiwa Island. You can swim and see very colorful fish there. I went there this summer. I saw fish. They were very beautiful. You can eat Ichigori. It is a very famous shaved ice dessert. It is very delicious. (41 words)</p>	<p>・友達に分かるように、もう少し情報を詳しく入れてみよう。</p> <p>・伝わるように正確に書いているかな。</p>
8		◇前時で書いた「ぜひ行ってみたい場所」についての、まとまりのある文章を読み合い、どの友達の文章が1番行ってみたいか等のシェアを行い、それを参考にしながら、自分の文章を加筆修正する。		

【単元終了後】各クラスから選ばれた作品を廊下に貼り出し、2, 3年生に1番行ってみたいか等の紹介文を選んでもらう。

【目指す子どもの姿】

既習の知識、技能、体験を基にして、相手に配慮し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書くことができる。また、書き表したものをペアやグループになって聞いてもらったり読んでもらったりしながら、伝えたい内容を深め、より良いものへ再構築しようとしている。